



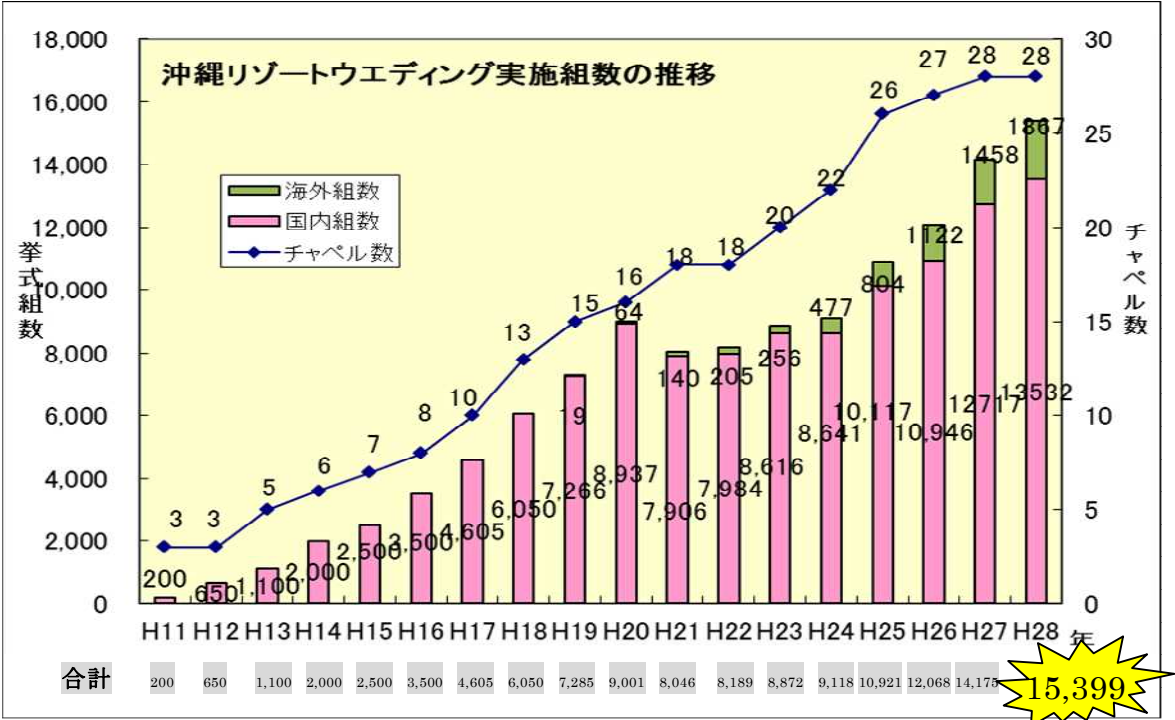
平成 29 年 3 月 23 日
 沖縄県観光振興課

前年比
 1,224 組増

**平成 28 年【年間】
 沖縄リゾートウエディング 15,399 組**
 <プレスリリース>

☆☆平成 28 年【年間】結果☆☆

平成 28 年 1 月～12 月「沖縄リゾートウエディング」の実施組数は、対前年比 108.6% (1,224 組増) の **15,399 組** と過去最高となりました。内訳は国内組数が対前年比 106.4% (815 組増) の 13,532 組、海外組数が対前年比 128.1% (409 組増) の 1,867 組となりました。



国内海外過去最高!!

調査方法：沖縄リゾートウエディングを取り扱う県内関係企業 62 社を対象に調査を実施。このうち回答のあった 55 社の数値を集計。

1. 沖縄リゾートウエディングの定義

「沖縄リゾートウエディング」とは、県外及び海外に在住する新郎新婦が、沖縄でウエディングを挙げることを目的に来県し行うウエディングのこと。この調査では、チャペルウエディングだけではなく、フォトウエディングやビーチ・レストラン・琉装ウエディングなども調査対象に含めている。

2. 傾向

- ・平成 28 年は、目標の 15,000 組を達成し国内・海外ともに過去最高となり総実施組数 15,399 組を記録した。また、全ての月で前年と比較して実施組数が増加し、国内組数が対前年比 106.4% (815 組増) の 13,532 組、海外組数が対前年比 128.1% (409 組増) の 1,867 組となった。
- ・国内は、「少子化」や「ナシ婚」が進む中、海が見えるチャペル等での挙式の人気が高いこと、また、ビーチなど沖縄の自然の中で撮影するロケーションフォト（フォトウエディング）の人気が非常に高まっていることが増加要因として挙げられる。増加の背景としては、参列者のことを考え「身近でパスポートなしで行けるリゾート地沖縄」を選択する客層が増えていること、魅力的なチャペルが多くあることに加え、旅行に合わせて実施できるフォトウエディングなど多様なウエディングスタイルの選択肢があることが挙げられる。
- ・海外は、香港の実施組数が初の 1,000 組を超え前年比約 40% 増の 1,065 組となったほか、台湾の実施組数も前年比約 28% 増の 550 組と増加している。増加の要因として、海のみえるチャペル等での挙式の人気が引き続き高いこと、国内同様ロケーションフォト（フォトウエディング）の人気の高まりが要因としてあげられる。
- ・リーガルウエディング（海外で現地の法律に基づいて結婚すること）については、香港での認知度向上や、県内での受入体制が整ってきたことが増加背景にあると考えられる。

3. 平成 29 年目標組数

平成 29 年 目標 16,000 組

(国内 13,700 組、海外 2,300 組)

1. 月別挙式状況

トップシーズン☆ 10月(2,057組)、11月(1,889組)、4月(1,858組)、7月(1,447組)の順に多い。

ボトムシーズン★ 1月(631組)、8月(703組)、2月(878組)の順に少ない。

- ・前年と比較すると、全ての月で、挙式組数が増加。
- ・2月は前年と比較し約1.19倍(144組)、12月は約1.17倍(138組増)の増加。

2. ウエディングスタイルの状況

挙式割合：国内 68.7%、海外 78.1%
フォト割合：国内 31.3%、海外 21.9%

- (1) 挙式スタイルとしては、「チャペルウエディング」が最も人気で、全体の約67%を占めている。
- (2) 挙式は挙げないが、沖縄の海や城跡などのロケーションで写真を撮る「フォトウエディング」は年々増加傾向にあり、全体の約30%を占めている。
- (3) また全体の約3%と割合的には低いが、沖縄では以下のような挙式を実施でき、需要が増えている。
 - ビーチウエディング…海を目の前にした絶好のロケーションで挙式
 - レストランウエディング…沖縄の食材を使った料理を味わいながらカジュアルな雰囲気を楽しめる挙式
 - 琉装ウエディング…琉球王朝時代の正装をまとっての挙式
 - ガーデンウエディング ○無人島ウエディング

3. 地域別の状況

国内客においては、前年と同様、関東地方からの申込みが最も多く、全体の約39%を占めている。(関東38.6%、近畿20.2%、中部16.7%、九州7.1%、北海道5.6%、中国4.9%、東北4.3%、四国2.6%の順)

都道府県別では、東京2,002組、大阪1,087組、愛知1,028組、神奈川732組、北海道593組の順に多い。

海外客においては、香港が1,065組(前年比302組増:約40%増)、台湾が550組(120組増:約28%増)、中国が142組(12組増:約9%増)、韓国が38組(9組増:31%増)の順となり、重点市場に置いている4地域すべてにおいて、前年よりも組数は増加した。その他の国では、アメリカ・カナダから2組、マレーシア・シンガポール・イギリス・ドイツ・デンマークから1組となっている。

4. 市町村別挙式組数の状況

恩納村・読谷村で全体の約 43%を占め、次いで、北谷町、名護市、糸満市、本部町、宮古島市の順で件数が多くなっている。特にリーガルウェディングについてはリゾートウェディング取扱業者の取組の強化などにより、多くの市町村で実施されるようになった。

5. リーガルウェディングの実施状況

海外組数 1,867 組中 384 組 (20.6%) がリーガルウェディングを実施している。また、昨年度と同様香港カップルの需要が高い。理由として、香港では、リーガルウェディングを挙げると本国で宣誓式を行う必要がないこと、各市町村で発行される婚姻届受理証明書が重宝されることが挙げられる。

リーガルウェディング実施組数は、前年と比べて実施組数が 72 組増となり、また今年実施された市町村は 11 市町村となっている。

読谷村が 141 組と最も多く、恩納村 107 組、国頭村 60 組、北谷町 27 組、名護市 24 組、那覇市 9 組、糸満市・本部町でそれぞれ 6 組、宮古島市 2 組、豊見城市・石垣市でそれぞれ 1 組の順となった。

※リーガルウェディングとは、海外で現地の法律に基づいて挙式をすることであり、国によって条件・形式が異なる。日本では、戸籍法に基づき婚姻届を市町村役場に届け出ることを指す。

6. 年代別組数

年代別では、30 代が全体の約 47%、20 代が全体の 42%と、20 代・30 代で 8 割を占める。

7. 引出物

国内・海外の全体の引出物の平均費用額は、一人当たり 2,830 円となった。国内客の引出物の平均費用額は、一人当たり 4,340 円、海外客については、一人当たり 1,320 円となった。国内客については、バームクーヘンやカタログギフト、琉球ガラス等の人気が高くなっている他、参列者への挙式ドレスコードとしてかりゆしウェアを贈るカップルも増えている。海外客については、バームクーヘン等のお菓子や琉球ガラス等の人気が高くなっている。

8. 平均参列者数及び平均滞在日数

国内	平均参列者：18.6名（平成27年平均18.4）
	平均滞在日数：新郎新婦3.6日 / 参列者2.6日
海外	平均参列者：22.9名（平成27年平均18.0）
	平均滞在日数：新郎新婦4.1日 / 参列者3.6日

- ・新郎新婦は参列者よりも、国内で1日、海外で0.5日、滞在日数が高い。
- ・海外の新郎・新婦は、国内の新郎・新婦と比較して0.5日滞在日数が高い。
- ・海外の参列者は、国内の参列者と比較して1日滞在日数が高い。

9. 推計来県者数

少なくとも約23万7千名の方がリゾートウェディングのために来県していると推計される。

《算出方法》

◎国内

①組数 13,532組（うち挙式 68.7%≒9,296組、フォト撮影のみ 31.3%≒4,236組）

②平均参列者数 18.6名（フォト撮影のみの場合は、参列者は0名と仮定）

{9,296組×20.6名（新郎新婦2名+平均参列者18.6名）} + 4,236組×（新郎新婦2名）≒199,970名

◎海外

①組数 1,867組（うち挙式 78.1%≒1,458組、フォト撮影のみ 21.9%≒409組）

②平均参列者数 22.9名（フォト撮影のみの場合は、参列者は0名と仮定）

{1,458組×24.9名（新郎新婦2名+平均参列者22.9名）} + 409組×（新郎新婦2名）≒37,122名

国内 199,970名 + 海外 37,122名 = 237,092名

10. 推計経済効果

リゾートウェディング顧客の県内消費額は、少なくとも約224億9千万円

《算出方法》

◎国内

①組数 13,532組（うち挙式 68.7%≒9,296組、フォト撮影のみ 31.3%≒4,236組）

②平均参列者数 18.6名（フォト撮影のみの場合は、参列者は0名と仮定）

③平均費用額 挙式 35.4万円、フォト撮影のみ 10万円（オープン価格による平均値）

④国内ウェディング客一人当たりの観光消費額 71,386円（H27年度観光統計実態調査）

{(9,296組×35.4万円) + (4,236組×10万円) + [(9,296組×20.6名) + (4,236組×2名)] × 71,386円} ≒ 約179億9千万円

◎海外

①組数 1,867組（うち挙式 78.1%≒1,458組、フォト撮影のみ 21.9%≒409組）

②平均参列者数 22.9名（フォト撮影のみの場合は、参列者は0名と仮定）

③平均費用額 挙式 32.9万円、フォト撮影のみ 10万円（オープン価格による平均値）

④海外客一人当たりの観光消費額〈空路〉 107,302円（H27年度外国人観光客実態調査）

{(1,458組×32.9万円) + (409組×10万円) + [(1,458組×24.9名) + (409組×2名)] × 107,302円} ≒ 約45億万円

国内 約179億9千万円 + 海外 約45億 = 約224億9千万円

➤ 平成 28 年度 沖縄県・(一財) 沖縄観光コンベンションビューローの取り組み

(1) 国内プロモーション

- ①旅行博覧会やブライダルフェア等における観光PRと連動した沖縄リゾートウェディング広報宣伝活動（北海道・東京・神奈川・静岡等）
- ②雑誌やフリーペーパー等の広告媒体を活用したプロモーション（北海道・愛知等）
- ③WEBやパンフレットによる情報配信

(2) 海外プロモーション

- ①ブライダルフェア等や個別販売会での広報宣伝活動（香港・台湾）
- ②メディアを招聘したウエディングFAMツアー（台湾）
- ③WEBや屋外を活用した広告プロモーション（香港・台湾）

(3) 受入体制整備・県内周知等

- ①県・OCVB・市町村・県内関係企業による「カップルアニバーサリーツアーリズム連絡会」を本島、石垣島、宮古島、久米島で開催

➤ 一般社団法人 沖縄リゾートウェディング協会の紹介

平成 23 年 4 月、沖縄リゾートウェディングの地位向上と発展を目的に、県内事業者がこれまで各自で行っていた誘致活動などを共同で行うため、ブライダル事業者を中心に「沖縄リゾートウェディング協会」が設立され、平成 25 年 8 月に正式に一般社団法人となる。現在の加入事業者は、平成 29 年 3 月 22 日現在、理事 7 社で会員企業は 97 社あり、その中で 9 つの委員会から構成される。

- ① リゾートウェディングの日委員会・・・毎月 22 日（夫婦の日）にリゾートウェディングの挙式をするお客様へ那覇空港で歓迎するためセレモニーを開催。
- ② WEB・フェア委員会・・・毎年 1 月に「沖縄リゾートウェディングフェア」を開催。公式サイトでの周知や助成事業を活用した交通広告等を実施。
- ③ フォトコンテスト委員会・・・「沖縄リゾートウェディングフォトコンテスト」を開催。新たに委員会を立ち上げ、沖縄リゾートウェディングの挙式部門、ロケーション部門に分けて審査する。
- ④ インバウンド委員会・・・リーガルウェディングの申請様式を統一し、結婚証明書受理に関する自治体や事業者の事務処理軽減を図った。
- ⑤ 引出物委員会・・・地域産業資源を活用した引出物、引き菓子の開発。
- ⑥ 読谷村、恩納村、名護市が行ったふるさと名物応援宣言における「沖縄リゾートウェディング応援宣言」で各市村が定期的に集まり YONNA リゾートウェディング協議会として、地元産業資源を沖縄リゾートウェディングに活用できるように取組をしている。

【沖縄リゾートウェディング協会に関する問い合わせ】

事務局：サンネット株式会社

〒901-2101 沖縄県浦添市西原 5-2-7

Tel 098-870-0670 / Fax 098-870-0671

E-mail info@tabi-wedding.com

WEB <http://www.tabi-wedding.com>

【統計調査についての問い合わせ】

沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課

誘致企画班 担当 禰保

TEL：098-866-2764

FAX：098-866-2765